

## 入院医療体制の強化について

### 1 病床の確保

新たな病床確保計画に対応するため、各医療機関に対し要請した結果、現時点で 1,151 床 (+121 床) を確保した。

新たに確保した 121 床について順次運用を進めるとともに、引き続き、病床確保に努め、今冬の 2 倍程度の感染者を想定した体制の構築(1,200 床程度)を目指す。

区分	現行	拡充後	差引
病床数	1,030 床	1,151 床	+121 床
重症	124 床	136 床	+12 床
中等症 2	459 床	502 床	+43 床
中等症 1	226 床	287 床	+61 床
軽症	221 床	226 床	+5 床

[拡充病床の内訳]・既協力病院 : 13 病院 60 床 (公立公的 8 病院 28 床、民間 5 病院 32 床)  
・新規協力病院: 8 病院 61 床 (公立公的 2 病院 17 床、民間 6 病院 44 床)

### 2 宿泊療養体制の強化

#### (1) 現況 (令和 3 年 5 月 26 日現在)

5 月 20 日から神戸市内において新たに 1 施設 (150 室) の運用を開始した。

(新たな病床確保計画における必要室数(1,500 室程度)を確保)

所在地		神戸	西宮	姫路	計	
運用状況	施設数	7	1	2	10	
	室数	936	200	339	1,475	
医療ケア	医師派遣	施設数	1	1	1	3
		実施時期	R3. 5. 1~	R3. 1. 23~	R3. 4. 1~	—
	酸素吸入	施設数	7	1	2	10
		設置台数	34	10	12	56

#### (2) 医療ケアの充実

##### ① 往診の実施

- ・兵庫県医師会及び兵庫県薬剤師会の協力の下、5 月 21 日から 2 施設 (神戸・西宮) において往診を開始
- ・運用状況等を踏まえ、順次、他の宿泊療養施設へも拡大

##### ② 医師派遣体制の強化

- ・兵庫県医師会に加え、5 月 26 日からは神戸大学医学部附属病院からも協力を得て、医師派遣(神戸)を実施

### 3 無症状者・軽症者の療養方針

4 月 10 日以降、感染者の急増を踏まえ、自宅療養を実施してきたが、宿泊療養施設の増加、医療ケアの充実も図られたことから、妊婦や基礎疾患がある者など入院対応が望ましい場合を除き、無症状者・軽症者については、宿泊療養施設での療養を基本とする。

なお、子育てや介護等の特別の事情がある者で、感染対策を十分に行える場合には、引き続き、自宅での療養も可能とする。